



早いもので今年も残りわずかとなりました。寒さが身に染みるようになってきましたね。12月11日は「胃にいい」で胃腸の日だそうです。忘年会などでお酒を飲む機会が増える方も多いと思いますが、体調管理にはくれぐれもお気をつけ下さい。



急性胃腸炎とは？

胃腸炎と一言と言っても、その種類は一つではありません。大きく分けると…

- ①細菌性
- ②非感染性
- ③ウイルス性



の3つに分類されます。

- ①細菌性胃腸炎の代表的な種類として【腸管出血性大腸(0-157)】【カンピロバクター】【サルモネラ】等食中毒の原因となる細菌です。これらの細菌によって胃腸炎を発症しています。
- ②非感染性胃腸炎とは【食物アレルギー】【緊張等の神経症】【暴飲暴食】等が原因として挙げられます。

③ウイルス性胃腸炎これから猛威を振るうのが【ノロウイルス】【ロタウイルス】



主にロタウイルスは乳幼児をはじめ子供に多い急性胃腸炎ですが…ノロウイルスは特に冬場に流行し集団感染しやすいのが特徴です。加熱が不十分なカキなど二枚貝を食した時に感染します。ノロウイルスは感染力が強く、感染者の便や吐しゃ物に触れたり、空気中に漂っているウイルスなどを吸い込む飛沫感染によって二次感染を起こします。今回は潜伏期間、主な症状等、感染対策についてご説明いたします。

★潜伏期間★

ノロウイルスは、感染すると24～48時間ほどの潜伏期間を経て発症すると言われてます。

★主な症状★



吐き気・嘔吐・腹痛・下痢・37～38℃の発熱

ノロウイルス感染は、初期時に微熱が出ることが多いのですが、激しい嘔吐・水様性の下痢が、1日に何度もある為、脱水症状を起こすこともありますので、水分補給には十分に気を付けて早めに病院を受診しましょう！



インフルエンザが流行しています。



今年は例年よりも早くインフルエンザが流行しています。インフルエンザにかからないためにも早めの予防接種をしましょう。さくらのクリニックでも1回4,000円（税込み）で予防接種を実施しております。（65歳以上の方は、市より補助が出ます。自己負担金は市町村によって異なりますので、お住まいの市役所へご確認下さい。）



部門紹介 ～さくらのクリニック 放射線科～

放射線科は常勤1名、非常勤1名で、患者様をお待たせすることなく、すぐに検査ができるような体制をとっています。

病気の早期発見・正確な診断・病態の的確な把握に、なくてはならない画像診断を行っています。

検査項目は、単純X線撮影(胸部・腹部・骨など)、マルチスライスCT検査(頭部・胸部・腹部など)、消化器造影検査(胃バリウム検査など)、超音波検査を行っています。

常に患者様の立場になって、安心して検査を受けていただけるように「やさしい検査」を心がけています。

分からないことや不安なことがありましたら、お気軽にお声かけ下さい。



消防訓練を行いました。



11月21日に消防設備専門の方の立ち合いの下、消防訓練を行いました。利用者様の大切な命をお預かりしておりますので、万が一のことが起きないように、日頃より安全の確保に努めてまいります。



実際に消火栓や消火器を使い、訓練を行いました。



医療法人 さくら会

〒323-0061 栃木県小山市大字卒島244番地1

TEL:0285-37-1221 FAX:0285-37-1640

<http://www.sakura-ac.com>

施設利用に関するお問い合わせ : 0285-37-1110 担当 三村・戸澤

採用に関するお問い合わせ : 0285-37-1221 担当 唐沢

さくら会 携帯サイト

